



環境リーダーNews

特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会「会報」
<https://kankyo-leader.org/>

2026 4/28

Vol. 134

季刊発行 春号



令和7年度の環境活動を振り返って

代表理事 吉岡嗣二郎



吉岡嗣二郎

会員及びご支援の皆様、ご健勝のこととお喜び申し上げます。令和7年度の当会環境活動を振り返ります。

環境活動の中心である主な環境学習講座では、神奈川県環境科学センターで「夏休み子ども環境体験教室」5講座を実施し、「はまぎん こども宇宙科学館」からは環境体験教室47教室を受託して実施しました。会報は年4回発行し会員及び関係機関に配布しました。また、ホームページは講師陣の活動情報を適時掲載し、アクセス数は8,498件となり、前年を上回ることができました。

会員数は47名で、高齢化に伴い減少傾向にあり、新規加入者の増員活動が必要です。講師陣の環境活動では、当会

が目指している「持続可能な開発目標」への活動意識が高く、各部会活動では勉強会も実施され、講座内容の充実化が見られました。令和8年度もこれまで同様、環境活動を進めて行きます。ご協力、ご支援をお願い申し上げます。



講座受講生の子どもが講師になって来館者と植物レンジャー活動



■総会会場の地図
かながわ県民センター 1501 会議室
JR 横浜西口より徒歩 5 分

- ◎総会開催
- 月日：5月25日(月)
- 場所：かながわ県民センター 1501 会議室
(開場：午後1時)
- 会員講演・「会員の活動」
(午後1時10分～1時40分)
- 総会：午後2時～4時
- 来賓：神奈川県環境科学センター所長
加藤陽一様

令和8年度総会を左記の要領にて通常開催いたします。会員の皆様はご参集ください。総会に先立ち会員講演を開催いたします。会員の皆様には「総会資料」を添えた総会ご案内を5月初めにEメールにてお送りします(一部のEメール受信が困難な会員には郵送)。

事務局 中村富士男

総会開催のご案内

はまぎん こども宇宙科学館
洋光台サイエンスクラブ

1月～3月 環境体験教室 報告

横浜こども科学館担当
石原靖文

はまぎん こども宇宙科学館の「洋光台サイエンスクラブ」では、令和7年度末の1月から3月の間に6教室を開催(3月は開催なし)しましたので、その教室の概要を下表に報告します。これら教室の詳しい授業内容はホームページに掲載しておりますので、右の QR コードからご覧ください。スマホで音声検索する場合は音声「環境リーダー会」にて、「活動報告」ページからご覧ください。

ホームページ→



開催日(曜)	教室名称	講師名	授業写真
1月18日(日)	ヨウ素でんぷん反応で食べ物を調べてみよう(親子教室)	長村 吉洋	
	<p>デンプンを含む食物をヨウ素液で調べる実験教室を実施しました。40種類ほど準備した食物をバイキング方式で選び、ヨウ素液を滴下し、色の変化を観察・記録しました。また、片栗粉と水でダイラタンシー現象の不思議な感触を体験し、硬くてもドロドロする性質を楽しみました。最後に、植物の葉の役割や二酸化炭素との関係、食品ロスやフードバンクについてスライドで説明し、食と環境への理解を深めました。</p>		食を選んでデンプン反応実験
1月24日(土)	みんなの周りの放射線を測ってみよう(親子教室)	石原 靖文	
	<p>身の回りにも放射線が存在することを理解する体験教室を行いました。教室で放射線について学び、公園に出て子どもたちの遊び場などを放射線測定器で測定・記録して発表しました。ラジウムボールを用いたシャボン玉割り実験を体験。簡易霧箱を製作して放射線の飛跡を観察する実験では、実験に苦戦しつつも試行錯誤する姿が見られ、親子で放射線への理解を深める有意義な体験学習ができました。</p>		ラジウムでシャボン玉を割る実験
1月25日(日)	めざせ植物ジュニアレンジャー(8)植物の名前はどこから	吉岡嗣二郎	
	<p>教室で植物の名前について学んだ後、科学館隣の公園で植物観察を行い、植物とその名前の由来を実感しました。シラカシは幹の内側が白いこと、サルスベリは滑りそうな幹、コブシは拳に似た形が由来と理解しました。アベリアやスイセン、ヤツデの由来も知りました。植物版画では冬の植物を題材に制作し、常緑樹の葉の特徴も体験しながら作品を完成させました。植物ジュニアレンジャーが3名誕生しました。</p>		科学館隣接公園でアベリアなど観察
2月8日(日)	ペットボトルキャップから自分だけのストラップを作ってみよう(親子教室)	長村 吉洋	
	<p>この教室では、実験でプラスチックの種類や特性、見分け方を学びました。比重分離実験(PP、PE、PS、PET)で素材の違いを確認した後、ペットボトルキャップを細かくしたものをアイロンがけで色合いの異なる独自のストラップを作るアップサイクルに挑戦しました。最後にリサイクルとアップサイクルの違いを解説し、プラスチック資源の重要性と物を大切にすることや資源循環の未来について考えました。</p>		ペットボトルの蓋で作ったストラップ
2月15日(日)	めざせ植物ジュニアレンジャー(9)春待ちウォッチング	吉岡嗣二郎	
	<p>春を間近にした植物の準備を観察し、自然の不思議さを体験しました。サクラの芽やヒイラギナンテンの花などを観察し、ロゼットの越冬も観察しました。また、外来種メリケンカルカヤの分布状況調査も行いました。室内ではハーバリウム作りを楽しんだ後、植物を観察した成果を発表しました。3名の「植物ジュニアレンジャー」の任命式も行いました。植物の生態と自然環境の現状を学ぶ充実した教室となりました。</p>		植物ジュニアレンジャーの任命式
2月22日(日)	レモン電池を作ってオルゴールを鳴らしてみよう(親子教室)	長村 吉洋	
	<p>この教室では、電気と電池の基礎を学び、レモンや様々な液体を用いた電池の工作・実験を実施しました。電子オルゴールを使って果物の電池でも音が鳴ることを確認したほか、ジュースや塩水でも実験しました。また、子どもたち5人を繋いだ電池でもメロディを確認できました。この体験を通して身近なもので電気が作れることを実感し、将来のエネルギー資源について理解を深める体験教室となりました。</p>		レモン電池で電子メロディ実験

はまぎん ども宇宙科学館
洋光台サイエンスクラブ

2026年度環境体験教室計画

横浜ども科学館担当
石原靖文

2026年度の環境体験教室は、昨年度とほぼ同様のラインナップで全45教室が計画されています。各教室のスケジュールを【下表】に示しました。子どもたちに人気の「植物ジュニアレンジャー」シリーズ講座は14教室が計画され、実践講座に数回受講すると植物ジュニアレンジャーの認定書とバッジが授与されます。和泉川での生き物観察会も人気の教室です。その他の教室にも例年多くの参加希望者があります。これら教室の開催に当たっては、当会の「生物部会」、「エネルギー部会」、「水・大気部会」それぞれの講師陣が子どもたちの好奇心を育む授業を展開しています。これら教室の開催は科学館のご担当の方々のご協力により実施されます。



植物ジュニアレンジャー講座



和泉川で生き物観察会



顕微鏡で細胞を観察



電子回路で赤外線通信

No.	教室 題 名	開催日(曜)
1	めざせ植物ジュニアレンジャー(1)身近な春の植物たち	4月11日(土)
2	「花だんご」を作って花を育てよう(親子教室)	4月18日(土)
3	「動物かくれんぼ」ミニこいのぼりで保護色実験	4月19日(日)
4	植物ジュニアレンジャー活動(1)温暖化と植物	4月25日(土)
5	あらしの音がするプリングドラムとレインスティックを作ってみよう(親子教室)	4月26日(日)
6	めざせ植物ジュニアレンジャー(2)植物の歴史を探そう	5月9日(土)
7	光のふしぎ実験「マジックボックスと偏光万華鏡を作ろう」(親子教室)	5月10日(日)
8	なぜ目は2つもあるの?3D 体感実験とジオラマ作り	5月17日(日)
9	植物ジュニアレンジャー活動(2)外来種はほんとにわるい?	5月23日(土)
10	和泉川・地蔵原の水辺で生き物観察会(親子教室)	5月24日(日)
11	磁石のふしぎ実験とリニアーマーターを作ってみよう(親子教室)	5月31日(日)
12	めざせ植物ジュニアレンジャー(3)自然のつながり(生態系)とは?	6月6日(土)
13	手作りミニ顕微鏡でいろいろな細胞を見よう(親子教室)	6月14日(日)
14	植物ジュニアレンジャー活動(3)海岸植物の工夫は?	6月20日(土)
15	ソーラーオルゴールを作ろう	6月27日(土)
16	トンボのヤジロバートと自分の体でバランス実験	6月28日(日)
17	めざせ植物ジュニアレンジャー(4)競争する植物	7月4日(土)
18	化学の不思議「つかめる水」を作ろう	7月5日(日)
19	風力発電機を作ってLEDをつけてみよう	7月11日(土)
20	電子回路工作(1)「LEDを点灯しよう」	7月12日(日)
21	植物ジュニアレンジャー活動(4)人と自然のつながり	9月5日(土)
22	人工の雲を作ろう	9月12日(土)
23	ミネラルウォーターのちがいを実験で調べてみよう(親子教室)	9月13日(日)

No.	教室 題 名	開催日(曜)
24	めざせ植物ジュニアレンジャー(5)伝えよう!植物の不思議とたのしさ	9月19日(土)
25	ペットボトルの中にトルネードを作ってみよう(親子教室)	9月27日(日)
26	海洋プラスチックで万華鏡を作ろう(親子教室)	10月3日(土)
27	ポリプを作って香りを楽しもう~香りのはなしとポリプ作り~	10月4日(日)
28	「エアバッグ」と「空気砲」を作って空気のパワーを実験してみよう(親子教室)	10月18日(日)
29	電子回路工作(2)「赤外線通信しよう」	10月24日(土)
30	めざせ植物ジュニアレンジャー(6)ふしぎな、不思議な種の世界	10月31日(土)
31	体温でも回るソーラー風車を作ろう	11月7日(土)
32	水の電気分解と燃料電池実験(親子教室)	11月8日(日)
33	ストームグラスと天気不思議(親子教室)	11月15日(日)
34	めざせ植物ジュニアレンジャー(7)植物と行事のつながり	11月21日(土)
35	手作り石鹸を楽しもう	12月5日(土)
36	LEDを使った光の色混ぜ実験とソーラークリスマスカードを作ろう(親子教室)	12月6日(日)
37	めざせ植物ジュニアレンジャー特別講座 伝統植物と門松を作ろう	12月13日(日)
38	ヨウ素でんぷん反応実験で食べ物を調べてみよう(親子教室)	1月17日(日)
39	みんなの周りの放射線を測ってみよう。環境と放射線(親子教室)	1月23日(土)
40	めざせ植物ジュニアレンジャー(8)植物の名前はどこから	1月24日(日)
41	環境にやさしい入浴剤を作ろうーお風呂場から学ぶ化学物質とその安全性ー	2月6日(土)
42	ペットボトルキャップから自分だけのストラップを作ってみよう(親子教室)	2月7日(日)
43	電子回路工作(3)「プログラムに挑戦」	2月13日(土)
44	めざせ植物ジュニアレンジャー(9)植物春待ちウォッチング	2月14日(日)
45	レモン電池でオルゴールを鳴らしてみよう(親子教室)	2月21日(日)

子どもサイエンスフェスティバル ●寒川大会 ●相模原大会

寒川大会

エネルギー部会長 鈴木勝男

「発電と電池の体験デモンストレーション」

1月17日(土)寒川町民センター

子どもサイエンスフェスティバル寒川大会に、当会は手回し発電や備長炭電池など5つの科学体験を出展しました。会員8名に加え高校生ボランティア2名が講師を務めました。手回し発電では白熱電球とLEDの消費電力の違いと電気の仕事(光・力・音)を体験しました。LED三原色実験装置では光の組み合わせによる色の変化を確認し、備長炭電池では炭で作った電池でオルゴールの鳴動とLED点灯を実演しました。手のひら発電では、ゼーベック素子(二種類の異なる半導体を両面合体し、その両面の温度差で起電力が発生する現象を応用した電子部品)に触れるだけでモーターが回る現象に多くの来場者が驚いていました。水素燃料電池では、水を電気分解してできる

水素でモーターが動く仕組みに子どもたちが興味深く見入っていました。快晴に恵まれ来場者は多く、当会ブースには250名以上が訪れ大盛況でした。



LED 三原色実験装置で色の変化実験

相模原大会

水・大気部会 長村吉洋

「ホバークラフトを作って走らせてみよう」

1月31日(土)相模原市立青少年学習センター

子どもサイエンスフェスティバル相模原大会では、7つ団体が出展してイベントが行われ、参加者が200名を超えました。当会はホバークラフトを作って走らせる体験で、子どもたちが紙製ホバークラフトを作り、その走行距離を競い合ってもらいました。走行レーンのために10mの距離を講堂で確保してもらえたのが幸いでした。ひっきりなしに来場者が訪れ、高校生ボランティア2名もホバークラフト作成指導に大忙し。参加者は思いおもいのデコレーションを施した自分だけのホバークラフトを作って、何度も走らせるのが楽しそうで、遠くまで走ると親子で歓声が上がりました。最長距離11mを記録した2名をはじめ、ほとんどが8mを超える高い精度で

作成することができました。どらえもん の絵やカラフルな色付けのホバークラフト作りも楽しめた一日でした。ホバークラフト作成者は130名に上りました。



ホバークラフトを作って親子で滑空実験

環境エネルギー学校派遣事業 かながわ環境教室

水・大気部会 大岩俊雄

「人工の雲をつくろう」 ～生き物と水、地球の水循環を知ろう～

1月22日(木)14時15分～15時、横須賀市立小学校

横須賀市立小学校の理科室でクラブ活動の学童(4～6年生)21名を対象に体験教室を実施しました。地球上でありふれた存在の水について、生物との関係、液体として地球に存在すること、また、地球の水循環で淡水化に関わる雲の役割を説明しました。次に空気砲の体験を行いました。後半の実験は学童が持参したペットボトルに雲を作る体験を行いました。最後にタレ瓶を使ってペットボトルを用いてパスカルの原理による浮沈子づくりを体験しました。地球温暖化の話題として、大気中の水蒸気量が増加したことにより、降雪量が増えていることにも触れました。



ペットボトルの中に「人工の雲」



会報の印刷版をモノクロ印刷からカラー印刷に刷新しました



環境活動案内 2026年5月～7月

■教室イベント情報	月日(曜)	開催時間	開催場所	開催担当
■めざせ植物ジュニアレンジャー(2)植物の歴史を探そう	5月9日(土)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	生物部会
■光のふしぎ実験「マジックボックスと偏光万華鏡を作ろう」(親子教室)	5月10日(日)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	水・大気部会
■なぜ目は2つもあるの?3D体感実験とジオラマ作り	5月17日(日)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	生物部会
■植物ジュニアレンジャー活動(2)外来種はほんとにわるい?	5月23日(土)	10:00～13:30	県立保土ヶ谷公園	生物部会
■和泉川・地蔵原の水辺で生き物観察会(親子教室)	5月24日(日)	10:00～13:30	和泉川・地蔵原	水・大気部会
■磁石のふしぎ実験とリニアモーターを作ってみよう(親子教室)	5月31日(日)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	水・大気部会
■めざせ植物ジュニアレンジャー(3)自然のつながり(生態系)とは?	6月6日(土)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	生物部会
■手作りミニ顕微鏡でいろいろな細胞を見てみよう(親子教室)	6月14日(日)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	水・大気部会
■植物ジュニアレンジャー活動(3)海岸植物の工夫は?	6月20日(土)	10:00～13:30	県立観音崎公園	生物部会
■ソーラーオルゴールを作ろう	6月27日(土)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	エネルギー部会
■トンボのヤジロベと自分の体でバランス実験	6月28日(日)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	生物部会
■めざせ植物ジュニアレンジャー(4)競争する植物	7月4日(土)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	生物部会
■化学の不思議「つかめる水」を作ろう	7月5日(日)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	水・大気部会
■風力発電機を作ってLEDをつけてみよう	7月11日(土)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	水・大気部会
■電子回路工作(1)LEDを点灯しよう	7月12日(日)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	エネルギー部会
■夏休み子ども環境体験教室「海と空気と二酸化炭素はつながっている」	7月27日(月)	10:00～12:00	環境科学センター	会員講座
■夏休み子ども環境体験教室「太陽の光で回るソーラー風車を作ろう」	7月28日(火)	10:00～12:00	環境科学センター	エネルギー部会
■夏休み子ども環境体験教室「動物かくれんぼ」保護色実験と食べた生きもの調べ	7月29日(水)	10:00～12:00	環境科学センター	生物部会
■夏休み子ども環境体験教室「エアバッグと空気砲を作ろう」	7月30日(木)	10:00～12:00	環境科学センター	水・大気部会
■夏休み子ども環境体験教室「身近な植物観察・不思議発見」	7月31日(金)	10:00～12:00	環境科学センター	生物部会

●定例部会情報	開催月日(曜)	開催時間	開催場所	部会長
●生物部会	6月17日(水) 7月15日(水)	15:00～17:00	県民センター10階 ボランティアサロン	吉田和史
●エネルギー部会	5月20日(水) 6月24日(水) 7月22日(水)	勉強会 15:00～ 定例会 16:00～17:00	会議室 or オンライン会議 (フクシア・県民センター)	鈴木勝男 (桑原 清)
●水・大気部会	適宜・部会メーリング	適時	部会メーリング	吉岡嗣二郎

部会の環境活動を紹介



エネルギー部会

部会長 鈴木勝男

令和7年度は、はまぎんこども宇宙科学館での環境体験教室、環境科学センターでの夏休み教室、神奈川県の出前授業(かながわ環境教室及びKISTEC)、横浜市の環境教育出前講座など幅広い活動を行いました。実施した講座は12回、イベント出展は1回(子どもサイエンスフェスティバル寒川大会)でした。これらは何れも神奈川県、横浜市の環境政策に沿って、地球温暖化防止、省エネの普及啓発を目的にしたものです。また、月例部会及び勉強会をオンラインで6回、会議室で6回開催し、各回7~13名が参加しました。部会では活動予定の確認と活動結果の報告を行い、勉強会では、各自テーマを持ち寄って相互研鑽を図りました。部会員数は30名、講座・イベントへの参加人数は延べ74名と活発な部会活動を行っており、来期も部会活動の更なる活性化を進めていきます。



水・大気部会

部会長 吉岡嗣二郎

はまぎんこども宇宙科学館や、県環境講座などで水や大気の大気自然現象の不思議さをテーマに環境保全の大切さを学ぶ講座を行っています。講座数は21回開催し、参加者は485名ありました。子どもが学校で学ぶこと以外に、日頃の身近な自然現象で不思議に思えることを学べる機会を提供し、参加者からも「楽しい」と好評を得ています。また、親子で参加できる機会を多くし、親子で学ぶ楽しさを共有できる教室になっていることが好評を得る一つの理由と思います。部会活動として集合例会などは実施していませんが、部会員への講座内容の事前連絡を丁寧におこない、講座終了後も改善点を確認するなど、より良い講座づくりに取り組んでいます。



事務局だより 中村富士男

■理事会開催予定

5月8日(金)、6月12日(金)は、「かながわ県民センター」の会議室、7月10日(金)はオンライン会議
いずれも14:30~16:00

■通常総会は、5月25日(月)、本紙トップページ参照



生物部会

部会長 吉田和史

はまぎんこども宇宙科学館などで植物や動物などの自然をテーマに環境の大切さを学ぶ活動を行っています。令和7年度は21回の講座を行い、311名の参加者がありました。子どもたちは、日頃学ぶ機会が少なくなっている植物や動物について、生態や名前の由来など、体験を通じて新しい知識と発見に喜びを感じているようです。親子で自然を観察するなど、同伴した親にとっても良い学びの機会となっています。また、保土谷公園や観音崎公園など野外での自然観察教室は、多くの参加者から好評をいただいています。部員活動は、毎月第3水曜日に月例部会を実施し、活動報告や課題を共有しています。また、SDGsの学び直しや面白トピックの紹介などの勉強会も行い、部会員24名の半数ほどが毎回参加しています。

■編集後記■

令和7年度も講座の内容充実に努めて、講座への参加者も1,500人にのびりました。部会活動での勉強会などで、来期もさらに充実した講座に取り組んでいます。会報134号では、この部会の活動を紹介していますのでご覧ください。また、会報の紙面カラー化にも取り組みました。従来もメールでの会報はカラーですが、郵送はモノクロでした。紙面でご覧いただいている皆様にも、より分かりやすく、また、会員の皆様にも魅力のある会報編集に取り組んでまいります。

岡田佳男

- 特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会 「会報第134号」 2026年4月28日(火)発行
- 発行者：代表理事 吉岡嗣二郎 広報部長 小林信雄 編集 岡田佳男
- 所在地：〒226-0005 横浜市緑区竹山三丁目2番地4 竹山3201-134
- Web：https://kankyo-leader.org/ ・ご連絡、お問合せ E-Mail：npo.k.leader@kela1993.org
- ◆ 寄付・会費等納入口座：ゆうちょ銀行00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会
横浜銀行 横浜駅前支店 普通預金 口座番号383-3286964 口座名義 特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会
- ★ ©不許複製：神奈川県環境学習リーダー会

